

平成23年第2回教育委員会定例会会議録

- 1 開会宣言 平成23年2月24日(木) 午後1時30分
- 2 場 所 三条市役所栄庁舎 201会議室
- 3 出席者 長沼委員長、坂爪委員長職務代理委員、渡辺委員、須佐委員、松永教育長
- 4 説明のための出席者
古川教育部長、池浦教育総務課長、久住子育て支援課長、高橋学校教育課長、坂井学校教育課主幹、嘉代小中一貫教育推進室長、金子生涯学習課長、西山小中一貫教育推進室主幹、遠藤教育教務課長補佐、阿部教育総務課庶務係長
- 5 傍聴人 2人
- 6 議 題
 - (1) 前回会議録の承認
平成23年第1回教育委員会定例会会議録について
 - (2) 議 事
議第1号 平成22年度三条市一般会計補正予算(教育委員会所管分)について
議第2号 平成23年度三条市一般会計予算(教育委員会所管分)について
議第3号 三条市小・中学校施設設備使用条例の一部改正について
議第4号 三条市小・中学校施設設備使用条例施行規則の一部改正について
議第5号 三条市丸井今井邸の指定管理者の指定について
議第6号 三条市幼児教育推進プランについて
議第7号 平成23年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の実施について
 - (3) その他
 - ア 栄中央保育所の設置について
 - イ 三条市青少年問題協議会の廃止について
 - ウ 小中一貫教育関係の概要報告について
 - エ 第2次子ども読書活動推進計画(案)について
 - オ 平成22年度小中学校卒業式参列者について
 - カ 次回教育委員会定例会の日程について
- 7 審議の経過及び結果
 - (1) 前回会議録の承認について
長沼委員長から平成23年第1回教育委員会定例会会議録について諮り、承認と決定
 - (2) 議 事

- ・ 議第 1 号 平成 22 年度三条市一般会計補正予算（教育委員会所管分）について
- ・ 議第 2 号 平成 23 年度三条市一般会計予算（教育委員会所管分）について

嘉代小中一貫教育推進室長、高橋学校教育課長、池浦教育総務課長、金子生涯学習課長、久住子育て推進室長から一括説明
質疑に入る。

(渡辺委員)

今回の内容とは直接的には関係ないと思うのですが、各学校の耐震関係の進捗状況はどうでしょうか。

(池浦教育総務課長)

一昨年、四川省の大震災を受けて、それに基づきまして今後の方針の中で、校舎棟の優先度ランク調査を行っているところについては、5段階の1と2、それから屋内体育館については1から3までを緊急に交付税措置等をかき上げするのでやりなさいという中でやらせていただき、そこに該当した補強ができる施設についてはすべて補強を終わっています。

改築が必要なもののうち、一ノ木戸小学校と裏館小学校については、今年度補正で建設事業費を上げていただいているとおり、平成 24 年 9 月開校を目指して新しい校舎を建築していくという方向を持っています。

それから第一中学校区、例えば四日町小学校や第一中学校、南小学校の体育館など、補強ができるところについては補強をさせていただきましたが、改築するものにつきましては今議論いただいている第一中学校区の一体校建設の中でこれを行っていきたいということです。

(渡辺委員)

今回のニュージーランドのああいふ非常にむごい地震を見ると、やはり一般市民の眼も学校の安全というものに注目度が大きくなってくるのではないかなと思います。よろしくをお願いします。

(池浦教育総務課長)

学校施設、特に体育館につきましては、避難所の役割を持っているわけでありまして。また、地域コミュニティの拠点として、避難所としての役目を十分踏まえて耐震の補強を行っておりますし、また校舎等につきましても今ほど申し上げた仕組みの中で、できるだけ早く整備を進めていきたいと考えています。

(坂爪委員)

今年の大雪を見ますと、朝早くから除雪車が来まして歩道が本当にきれいに除雪できていました。これはこの管轄ではないと思うのですが、大事なことだろうなという気がします。

関連して、夜に体育館で活動しますと、非常口のドアは雪でほとんどが開きません。非常口でありながら使えないような状態で、体育館には誰かが来ていると。出口もほとんど逃げられないような状態になっているところもあります。これはどこの管轄になるのか分かりませんが、対応をお願いしたいなと思います。

それから、8 ページに高齢者のインフルエンザとありますが、予防接種を受ける子ど

もたちの親の負担が本当に大きいので、ここら辺りもまた参考にしていただければなどという感じがします。

(池浦教育総務課長)

除雪の関係を少し説明させていただきたいと思います。今回は御承知のとおり、一気にかなりの雪が降りまして、とりあえず子どもたちの安全安心の確保が最優先という中で、通学路あるいは学校内をやらせていただきました。確かに安全確保の中に非常口の確保も必要なことだと思っておりますが、なかなかそちらまでは手が回っていかなかった中での御指摘だと受け止めています。

私どもも、これは土木課、あるいは行政課等と協力しながら、今後の雪の状況を見ながら安全対策に意を用いていきたいと考えています。また、委員さんからいただいた御意見につきましても、私どもとしても消化できるようにしたいと思います。

(長沼委員長)

すまいるランド 10 万人というのは本当に素晴らしいことですが、こんなに早く 10 万人達成と思われましたか。

(久住子育て支援課長)

一昨年の立ち上げの際にはやはり議会等でも質問がありました。私はそのときに何人を予定しているのかということで、普通の支援センターでは約 30 人～40 人くらいが毎日来ておりますので、拠点施設でもあり大きいのでその 3 倍を超えればいかなと 100 人を予定していたものです。これが、約 500 人くらい、また平日ですともっと多くの親子に来ていただいたということで、本当にこういう天候に左右されず遊べる場所を皆さん求めていたんだなということを改めて実感しているところです。

(長沼委員長)

こちらにあります「いちいのき」の方が大変喜んでおられまして、来た帰りに買い物をしてくださるということで、前は午後からだったのを午前からに移して、大変好評だそうです。重ねてお礼をということをおられました。

(渡辺委員)

さっきの坂爪委員の除雪の関連があるかも知れませんが、今年は特に大雪でございまして、1 月は今までないような非常に大量の雪が降ったわけです。国道や市道の除雪が非常に行き届いていたという一般市民の方たちの声が耳に入ってきます。やはりスクールバスとか、子どもたちも国道市道を歩く場合がたくさんあるわけですので、そういう場面においても非常に市の体制がよかったのかなというふうに思います。反面、町中の方はどうだったかなという心配もありますけれど、非常にたくさん降っている私たちの下田地区では非常に喜んでる声がありました。

(古川教育部長)

除雪につきましては、三条市全体で部長もみんな集まって、それぞれのセクションの要請もいたしましたし、雪の量が非常に多かったものですから、三条市全体の当初の予算額を超えて除雪の作業がなされたと承知しています。そうした中で本当に業者の方も頑張ってくださいまして、私どもも学校や保育所などの教育保育園関係施設の除雪等もお願いして、即座に対応していただいているということで、限られた条件の中で精一杯

の働きをしていただいたと承知しているところです。とは言いましても、本当に市内全域に渡ってどなたにも満足のいくようにとは大変難しかったところもあろうかと存じます。今年の景況も踏まえまして、また来年度も対応してまいりたいと考えています。

(長沼委員長)

私のところは三条市で一番高齢化率が高い町内なのですが、お1人の方のところに民生委員さんを通じて行政の方が来てくださって、ほとんど雪降ろしをして、とても喜んでおられました。町内では、私どもが一番若いというくらいですので、お手伝いをしようにもどうしようと言っているときにたちまち来てくださいます、本当に皆さん感謝しています。

全員異議なく承認と決定

- ・ 議第3号 三条市小・中学校施設設備使用条例の一部改正について
- ・ 議第4号 三条市小・中学校施設設備使用条例施行規則の一部改正について
池浦教育総務課長から一括説明
質疑に入るが質疑なく、全員異議なく承認と決定
- ・ 議第5号 三条市丸井今井邸の指定管理者の指定について
金子生涯学習課長から説明
質疑に入る。

(須佐委員)

収入が300万円ほどありますが、これはどのような収入なのか。

(金子生涯学習課長)

このうち、前期繰越金が2,130,569円です。残りの1,245,785円のうち、年会費が144,000円、利用料金が104,500円。寄付金、これは色紙展や陶芸展や写真展での売り上げからの寄付金ですが、992,900円。それから雑収入として4,385円ということで、これらを合計しますと収入として3,376,354円になるという内訳です。

(松永教育長)

この指定管理者に委託している丸井今井邸保存会という団体は、私の認識ではだいぶ高齢化が進んでいるのかなという心配もあるのですが、今の会員の数や、あるいは今後の方向性などについて何か情報があったら聞かせていただければ有り難いです。

(金子生涯学習課長)

年会費からすると会員数40名となっていますが、実績報告等から見ると会員数が80名という記載になっています。年会費を払わない方を入れれば80名になるんだろうなと思っています。前会長が加藤昇先生でしたが、ある程度期間を経過した中で次の世代に譲りたいということで小川高示さんが会長になられて、今は会員拡大にそれぞれ取り組んでおられます。こういう方針でということについてはまだ私どもの方と協議中ですのでよろしくお願いします。

全員異議なく承認と決定

・ 議第 6号 三条市幼児教育推進プランについて

久住子育て支援課長から説明

質疑に入る。

(須佐委員)

私も 100%いいとは言えませんが、学校訪問で学校を回ると特に低学年から中学年くらいで、はしの持ち方が悪いなと感じている。小学校は幼稚園が教える、幼稚園側は親が教えるもの、その辺の行き違いがあったりするのかもしれない。本当は親が教えて当たり前なのですが、親も忙しいとか何だかんだで、結構今の親は子どものはしに余り興味を持っていないという面もあります。その辺の格差ができて、きれいに持つ子もいるので、またいじめやそういうふうにつながるのも嫌だなと思います。何とかうまくはできないかなど。

(久住子育て支援課長)

この「生活習慣を身につける」の中ではいろいろな委員さんたちからも御議論がありました。例えば、靴を正しく揃えるだとか、もう細かくいうと切りがないくらいに。幼児施設ですべてやることなのかと思うくらいにいろいろ上がってきたのは事実であります。

この「はしを正しく持つ」につきましても、本当は家庭なのではないかとか、いろいろな議論があったところではあったのですが、今、幼児教育の中でも食育ということで、栄養士がすべての保育所、保育園を訪問し、簡単な栄養素の勉強をしたり、楽しくおやつのお時間におにぎりをいただくことで御飯に対する知識を得たりということもあります。その中で健康にも関することだということで、はしの使い方を教えていこう、加えましょうというお話になったものです。また、食育推進室と共に、こちらもそういった力を発揮できるようにやっていきたいなと思っています。

また、パブリックコメントでも御意見があったのですが、それこそ家庭の周知を徹底してほしいと、保育所だけでやって家に帰ったらあいさつもしないと、一緒にやらなければここにあることが全然身につかないということになるわけですので、周知も含めまして一緒に育てましょうという形で、家庭教育講座でもこれを使いながらお話をしていきたいなと思っています。

(長沼委員長)

ぜひよろしく願いいたします。お母さん方におはしを持ってみていただくと早いかも知れませんがね。

新入社員のおはしの持ち方で、握り箸とか、家でもフォークだとか、頭が痛くなるという事を言っておられた方もおられました。最初の脳にも関係ありますので、頭が良くなるというふうにおっしゃって、ぜひお願いいたします。

全員異議なく承認と決定

・ 議第 7号 平成 23 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の実施について

高橋学校教育課長から説明

質疑に入る。

(坂爪委員)

ソフトボール投げで全国1位になった子がいましたよね。80メートルくらい投げる、そんな子が育つのでからすごいことですよ。

(高橋学校教育課長)

その子につきましては、企業が協賛をしている全国規模の大会で国立競技場で日本一になり、さらに明治神宮大会の中でもソフトボール投げで全国1位となるということから、とても期待をしております。

(松永教育長)

中学に行ったら何の部活をやるのかと校長に聞いてみたのですが、球技ではなく陸上の方をやりたいという意向なのだそうです。

(坂爪委員)

いいですよ。走、跳、投のどっちになってもいいわけですからね。

(松永教育長)

学校では槍投げは中ないわけですので走、跳、投か、基礎体力を作って更なる肩の力をつけてほしい。あれは鍛えて投げられるものではないですから。80何メートルというものは天性のものだと思いますので。やはり期待は大きく、順調に成長してほしいなと思っています。野球のピッチャーになったら、どれくらい早い球を投げるなと思っています。

(坂爪委員)

野球のピッチャーの話で言えば、大面小学校に1メートル70くらいの、すごい球を投げるピッチャーがいますよ。ハードルは全国大会で6位でした。何をやってもいいのですが、野球はやらないで陸上にいくそうです。野球のピッチャーをしていてハードルをちょっと練習やって6位になりましたからね。本格的に練習してこのままいけば全国的な選手になるだろうと。本当に、そうした子もいっぱいおります。

(松永教育長)

そういう素質のある子どもを育てていく指導者が大事なことだと思うので、専門的な指導者が協力できる体制であれば社会体育課辺りで協力をお願いしないですね。

(長沼委員長)

コツをちょっと言ってあげれば普通の子でもかなり伸びると、前に坂爪委員が言われていました。その指導をしていただくと子どもたちはとてもいいのではないかと思います。

今、全国何位というお話がありましたが、バランス弁当コンテスト優秀賞、新聞によればお母さんが喜ぶショウガを使ったハンバーグなど、すごいなど、6年生でよくあそこまでと、読んで本当に私どもが嬉しいニュースです。やはりそういう子どもが増えるとうれしいと思います。

(3) その他

ア 栄中央保育所の設置について

イ 三条市青少年問題協議会の廃止について

久住子育て支援課長から一括説明
質疑に入るが質疑無く、質疑終結

ウ 小中一貫教育関係の概要報告について

嘉代小中一貫教育推進室長、西山小中一貫教育推進室主幹から説明
質疑に入る。

(松永教育長)

学校教育課長は現場の経験もありますから、カリキュラムについてどのような感想か
ちょっと聞かせてください。

(高橋学校教育課長)

教科書等につきまして申し上げますと、教科書会社から単元についての指導はどうあ
ったらいいかというものは当然参考として示されています。私どもはそういうものにす
ごく慣れてきています。そういう中で、その学年のその指導はどうしたらいいかという
ことについて、教員は非常に慣れているのですが、そのひとまとまりが将来どうなって
いくのか、例えば小学校の教員は小学校6年生まではどうなるかは大体分かりますが、
その先どうなっているかはあまり分からないこともあります。中学校の先生は小学校の
ことについてはそうそう分からないと思います。

指導計画の中には9年間の学びにおける本単元の価値、こういうものを書きたいとは
誰もが思っていました、私が見る限りにおいては日本で初めてだと思っています。日
本で初めてですので、そういうことに挑戦したことはすごい事だなと思うと同時に、こ
れから三条の先生方が三条の子どもたちを目の前にして三条の先生方の力で三条のカ
リキュラムができていく第一歩だと思います。いずれにしろ、この9年間の学びの本来
の価値というすごいことに挑戦したものだと思っています。

(長沼委員長)

これはできますと、各先生方には1部ずつ行くわけですか。各教科といたしますか、小
学校で。

(西山小中一貫教育推進室主幹)

今の段階で、全学校にはこれを配布しました。それとCDに落として各学校に自校化、
自中学校区化ができるようにソフトのカリキュラムとして渡してあります。今後、それ
ぞれの中学校区、それぞれの学校において地域の素材をこんなふうに活用するか、こ
んな単元に力を入れていきたいというものをCD等を活用して作成し、それぞれの学校
に合ったものが完成されていくと考えています。

(松永教育長)

これを作るまで、いわゆる夏期休業やあるいは勤務時間外等の時間で本当に一生懸命
作ってくださった先生方の労力、御尽力に敬意を表したいと思っています。

先ほど学校教育課長が説明しましたが、私どもはやはり小学校は小学校、中学校は中
学校というひとつの文化を大事にしていくという風土がありますが、三条市が狙ってい
るのは小学校で今習っているのは中学校のどの場面でどの教材とつながっているのだ
ろうか、あるいは今習っているのは前の学年のどこからここにつながってきているのだ

ろうかと、学びの履歴や学びのつながり、そういうことをあえて抜け出して、勉強していること。そして教員は今指導していることが次にどこにどういうふうにつながっていくのか、そして中学校の先生は、小学校でこういうことをやってきたんだから中学校でそれを発展的にとらえよう、小学校の先生は中学校でこうやるのだから、せめてこの基礎はここでしっかりと押さえておこうという自らの指導の狙いが明確になってくる。

そうするとさっき高橋課長が言ったように、9年間の本単元の学びの価値というところにそれらが集約されてくるので、そこへあえて挑戦して整備をしたことが今までの各学校が持っている指導計画と違った小中の一貫教育の三条市のカリキュラムです。

ただ、私がこの前の講演会で申しあげましたけれども、品川みたいに生活科をひとつ作りましょうとか、あるいは小学校1年生で英語科を徹底してやりましょうということではなく、あくまでも国の基準である学習指導要領は、これは全国どこにいても共通なものですから、それを基本にしてそれをいかにして小と中でそれを消化していくかという、そのところに力を入れたのが三条市の指導計画であると私は認識しております。

本当にこれから来年度新しく小学校の教科書は改訂されますので、その教科書を使う中で先生方が指導計画を活用していただくと私はいい教育が施されるのではないかなと期待を持っているし、また育ってほしいという希望を持っています。

(長沼委員長)

小中一貫の説明会などで、小学校の先生方がよくおっしゃるのは、小学校同士の話し合いができてよかった、自分がこうしていることが隣の小学校では違うことがあったということが分かったと。

こういうものがあればそういうことがずいぶん防げて、そして安心して同じ目標で同じ達成感でできるので、現場の先生方の希望からできた大変いい物だと私も思っています。勉強させていただきます。有り難うございます。

(高橋学校教育課長)

例えば、算数で具体例を申し上げてみると、子どもたちは数というものは大きくなると思っています。ところが、数というものは大きくなると同時にその反対には負の数という小さな数があります。それを中学校の1年生で習うということは小学校の先生はそうそう知らない。それから、数が大きくなるにつれて、足し算、引き算のほかには掛け算も割り算もやりますが、例えば分数の足し算、引き算、掛け算、割り算ということはどこで習うか、分かる教員は分かるのですが詳しく知らない教員もおります。いろいろな計算が入ってくるというものの見方、世界が広がっていくことが大切です。

子どもたちも、教員がそんなふうになると、例えば小学校の5年生で足し算引き算をやった子どもたちは、「先生、分数も割り算だってあるんじゃない、掛け算だってあるんじゃない」、「数が大きくなるということは小さくなることもあるんじゃない、細くなることもあるんじゃない」となるでしょう。いろいろな部分で教える内容は変わらなくても先生方の目が変わっていく。目が変わっていけば子どもたちもそういう見方が広がっていく。これが大切だと思っています。

習うことは同じかも知れませんが、そういうふうに子どもたちの学びが変わっていく。そのヒントがこの学びの本単元の価値の中に出てくる。とても画期的なことだと思いま

す。

エ 第2次子ども読書活動推進計画（案）について

金子生涯学習課長から説明

質疑に入る。

(長沼委員長)

子ども専用のカードというのは、大人の大きさを子ども専用なのですか。

(金子生涯学習課長)

今の図書管理用カードにつきましては、大人も子どもも一緒のカードです。これは3年間有効のカードでございますので、更新時に同じ大きさですが、子ども専用のキャラクターのデザインをプリントした専用カードを作ろうという考えです。

(久住子育て支援課長)

補足ですが、読書活動推進計画の保育園、保育所、幼稚園等の取組を受けまして、推進プランの中でも幼児教育の一層の充実の中で絵本の読み聞かせを充実させるということの特記させていただいたことを申し添えます。

(長沼委員長)

老人施設でお年寄りに、こんなことおかしいかなと思ったけれども、時間が余ったときに童話を読んであげたら、とても喜ばれたそうです。私も、子どもさんのお母さんに読み聞かせをされたらすごく感動して、読んでやろうと思うこともあるのかなと思いました。お母さんは、読みなさいと言われても結構読むのは疲れるんですよね。でも、読んでもらうのって確かにとてもいいんですね。ですからお母様方に読んで差し上げてはどうかと思っていました。

オ 平成22年度小中学校卒業式参列者について

池浦教育総務課長から説明

カ 次回教育委員会定例会の日程について

池浦教育総務課長から提案があり、委員長が諮り次のとおり決定する。

日 時 平成23年3月25日（金） 午後1時30分

会 場 三条市役所栄庁舎 201会議室

8 閉会宣言 平成23年2月24日 午後2時56分

三条市教育委員会会議規則第38条及び第39条の規定により、会議の顛末を記載してここに署名する。

平成23年3月25日

三条市教育委員会

委員長 長沼 礼子